

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 会長 栗田 裕子
 編集：広報委員会
 監修：ひたちなか市環境保全課
 TEL：029-273-0111 (内3313)

環境から版

環境四季時計(冬祭り)を開催します

ひたちなか市の環境を良くする会とひたちなか市の共催で、環境四季時計【冬祭り】環境シンポジウム2013を、来年1月26日(土)午後1時からワークプラザ勝田多目的ホールにて開催いたします。

シンポジウムでは、小・中学校、団体、事業所による、日頃から取り

組んでいる環境活動の発表や、「環境活動を楽しく続け広げていくには？」と題してパネルディスカッションを行います。

また、楽しく環境のことを学べて豪華景品が当たるアトラクション「エコビンゴ」を予定しております。

ひたちなか市の環境を考えるいい機会として、皆様ぜひ、ご来場ください。お待ちしております。



昨年度の様子

環境保全啓発ポスターコンクール 受賞作品決定!

環境学習の一環として、小・中学生を対象に『自然環境保全』『街をきれいにする』『地球温暖化防止』の3部門をテーマに、7月2日から9月28日の期間に環境保全啓発ポスターを募集しました。

ごみの分別豆知識 アルミホイルの処理

アルミホイルを捨てる時、皆さんはどうされていますか？

夕飯のおかずでサーモンのホイル焼きに使ったアルミホイル、『燃やせるごみ』に捨てていませんか？

実は、アルミホイルは『燃やせないごみ』、もしくは『資源物』に分類

応募作品は、地球規模の問題から身近な魅力など幅広く、力強いメッセージが込められていました。応募作品の中から、各部門最優秀賞1点、優秀賞3点を決定しました。

表彰式と作品の展示は、1月26日(土)の環境シンポジウム(ワークプラザ勝田)にて行います。

受賞作品は2面に掲載しましたのでご覧ください。(原口)



エコビンゴで盛り上がる来場者



ひたちなか・東海クリーンセンター

されるのです。

おにぎりなどに使った汚れのほとんどないアルミホイルは、空き缶などと一緒に『資源回収』へ、汚れたアルミホイルは、『燃やせないごみ』に出すようにしましょう。

『燃やせるごみ』に混入したアルミ缶などは、量が多いとごみ焼却炉を傷めてしまいます。ちょっとした気遣いで新しいごみ焼却炉が長持ちし、ひたちなか市の予算節約にも繋がります。(綿引)

『ひたちなか市の環境を良くする会』は、ひたちなか市が策定した「ひたちなか市環境基本計画」に基づき計画の推進母体として設立され、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にする心を育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。3つの分科会(ごみ問題、温暖化防止、自然環境)がそれぞれの分野で取組を計画し活動を行っています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

～会員を募集しています～ 問合せ・申込先：ひたちなか市環境保全課 TEL273-0111 (内3313)
 市内に在住、通勤、通学している方。市内で活動している団体、事業所。一緒に活動しませんか？

ブログ [ひたちなか市の環境を良くする会](#) 検索

【秋祭り】開催される



小学生による太鼓演奏

10月8日(月・祝)正午からひたちなか総合病院と大型店舗の間にある東石川第2公園にて、環境四季時計「秋祭り」が開催されました。

秋晴れの中、東石川小学校児童2名による太鼓演奏で開幕しました。

開催テーマである『水と土と空気に感謝!』を込めた栗田会長の挨拶後、市内の音楽愛好者有志によるアコースティックコンサートが演奏され、次いで「ワンネス・エコ・ひたちなか」による電磁波など自然環境問題を上げた「環境劇」が上演され、いずれも来場者から大きな喝采を受けていました。

最後に、イキイキ表現団による勇壮な踊り「ミルクムナリ」があり、祭りを盛り上げました。

会場内では、フリーマーケットの店が出店して、地産野菜の即売などで賑わいました。

最優秀賞・優秀賞の発表

ご応募いただきました皆様ありがとうございました。(応募総数108作品)来年もお待ちしております!

〔街をきれいにする部門〕



外野小 6年 武藤 愛さん

〔自然環境保全部門〕



佐野小 3年 住谷 竜也さん

最優秀賞

会員事業所・分科会等の環境活動パネルが展示され、発電実験教室や竹細工コーナーもあり来場者の関心を呼んでいました。受付では竹林整備で作った「竹炭」を配布して喜ばれていました。(井上)



パネルを熱心に見る来場者

消費生活展に出展

11月3日(土)、4日(日)の両日開催された産業交流フェアと同時開催の、第19回みんなの消費生活展に参加しました。

今回は『自然環境保全』をテーマに、竹林整備活動をPRしました。竹林で伐採した竹と、ドラム缶製炭窯で焼いた竹炭を展示し、また竹で作ったブンブンゴマ、竹ぼっくり、竹の起き上がり子法師を準備し、多くの子供達が楽しそうに遊んでいました。



竹ぼっくりで遊ぶ子供

また、展示されている活動パネルを来場者の方に見て頂こうと、パネルを見て答えてもらうクイズを実施し、500名の方が、真剣にパネルをご覧になり、解答して下さいました。(石井)

合同分科会の開催

10月13日(土)、一中コミセンにて今年度第2回目の合同分科会が開催されました。

今回は、イベントの参加者を増やすには『各コミュニティの環境部会とのリンクを強めてはどうか』『会員一人一人が近くの方からPRしていき一人ずつでも増やしていくことが大切ではないか』などの提案がありました。



最後に栗田会長が、『環境の種まきをして良い花を咲かせましよう』としめくくりました。(渡辺)

〔地球温暖化防止部門〕



勝田一中2年 田中 莉里奈さん

優秀賞

〔自然環境部門〕

- 佐野小 2年 山形 明日美さん
- 湊三小 3年 海老沢 悠仁さん
- 湊三小 3年 渡辺 翔馬さん

〔街をきれいにする部門〕

- 勝倉小 4年 庄司 純一朗さん
- 中根小 5年 葛貫 翔大さん
- 中根小 6年 西室 怜奈さん

〔地球温暖化防止部門〕

- 勝田一中 3年 盛舛 萌音さん
- 大島中 1年 川原 晴香さん
- 勝田一中 3年 有働 宗一郎さん

「生まれ変わる生ごみ」見学会

6月、柳が丘自治会30世帯の協力で集めた家庭から出た生ごみが、12月に堆肥に生まれ変わります。
11月21日(水)に柳が丘自治会の協力者8名が、堆肥を製造している旧那珂湊清掃センターに集まり、製造現場を見学しました。



切返しを見学する参加者

フードマイレージ講座開催

食材の輸送にかかるエネルギーを減らすことができるという考えのもと、輸入食品に頼らず地元で取れた食材を使う地産地消を地域の皆さんに知っていただくために、『フードマイレージ講座』を来年3月23日(土)午後1時30分からワークプラザ勝田で開催します。対象は、市内小学生(高学年)とその保護者です。詳細は後日お知らせします。お楽しみに！



説明を受ける参加者

会員が堆肥を切返す作業を見たり、堆肥の原料や作り方について説明を聞いたりして関心を深めました。
生ごみの野菜くずや果物の皮などは、ほぼ分解されて影も形もありませんが、その養分は、ちゃんと堆肥の中に貯蔵されています。
生ごみと合わせて混入した副資材のおが屑ともみ殻は、分解が遅いため形は残っていますが、濃い飴色となり熟

成のサインを送っています。
おが屑ともみ殻はその形を留めて土の通気性や透水性を改善し、やがて腐植に変わり、ホクホクで肥効の良い、病害に強い健康な土作りの進めていきます。
見学会の後半は、会員が用意した流行のごぼう茶で健康話に花を咲かせ、旬のネギをお土産に渡し終了しました。

企業紹介

地球温暖化が進むと云われる中で「エコアクション21」の認証企業で金属メッキの「株式会社飯泉(市内津田)」を訪問しました。
近隣の同業者と共に講師を招いての学習会を重ね、環境経営システムを導入し「エコアクション21」を取得しました。従業員13名の知恵と努力で、①CO₂排出削減のために電力と燃料の使用量の削減 ②水の使用

来年は、新たにご協力をいただける自治会を増やし、柳が丘自治会と合わせて100世帯で生ごみ堆肥化実験を行う予定です。
なお、3月17日(日)「ワークプラザ勝田で、環境四季時計【春祭り】」生ごみ減量の裏わざと題して、生ごみによる堆肥作りについての講演会を予定しています。ぜひご来場ください。(池田)

量削減 ③廃棄物の削減に成果を上げました。



お話し下さった飯泉 聡専務は、「更に温暖化防止に役立つ取組をします。」と力強く仰っていました(若林)



環境かわら版

ごみのない きれいな街に

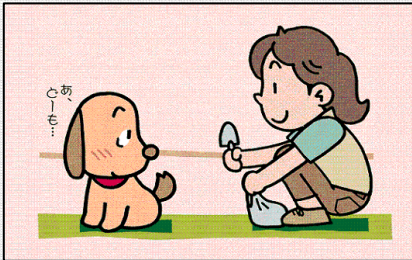
清潔な美しい街づくりを目指し、ごみなどの投げ捨てや犬などのふん放置で街を汚さないようにしましょう。

犬・猫のふん放置がまだ見受けられます。飼い主は周りの方々に迷惑や危害を及ぼさない心配りとしつけが大切です。

●排泄のしつけをしましょう！

散歩中、「ふん」をした時は必ず持ち帰りましょう。

猫は屋内にトイレを設置しましょう。



※犬の「ふん」は、あなたの「ふん」。持ち帰りましょう！

この計画では目指す環境像「暮らしと自然が共生し、ゆとりと潤いのある自立協働都市」の実現に向け、環境保全に関する取り組みを行っていくと明記されています。

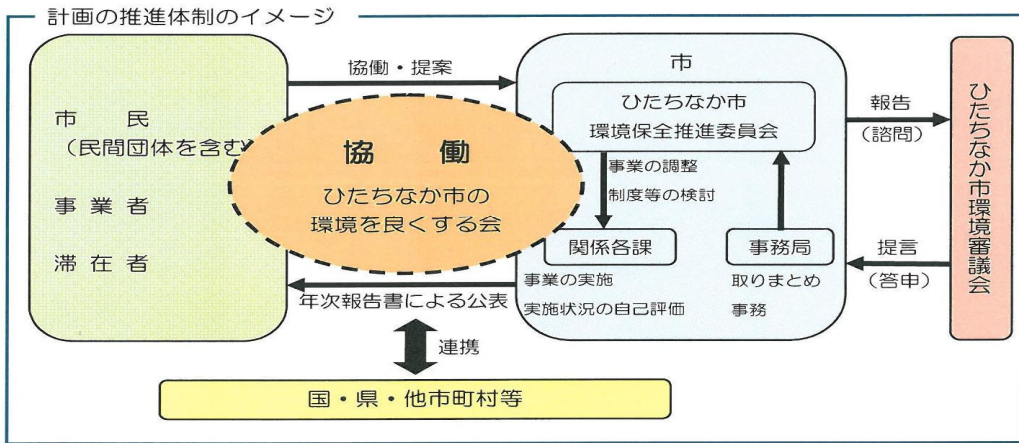
ひたちなか市環境基本計画

皆さん、「ひたちなか市環境基本計画」というものはご存知でしょうか？

豊かな自然を後世に継承することにも快適に住みよい環境づくりを進めるために、ひたちなか市が平成14年3月に策定しました。その後10年が経過し、環境問題は身近な問題から地球規模の問題まで多様化してきました。

- この計画は、次の5つの環境目標を定め、達成するための方向性や具体的な施策が定められました。
- 環境目標
 - ①身近な自然を守り育みながら、「ひたちなか」らしさのある豊かな自然を継承します〔自然環境〕
 - ②恵まれた環境資源を生かし、ゆとりと潤いのある都市環境をつくります〔都市環境〕
 - ③地球にやさしく、環境負荷の少ない持続可能な循環型の地域社会をつくります〔地球環境・循環型社会〕
 - ④暮らしや産業活動と環境との調和がとれた、健康で快適な毎日が過ごせる地域社会をつくります〔生活環境〕
 - ⑤環境保全活動を協働して進めるまちをつくります〔パートナーシップ〕

この計画の推進にあたっては、行政・市民・事業者などの連携・協力により推進を図る必要があります。このため、次のような推進体制をとり、計画の効果的な推進を図ります。



この計画で『ひたちなか市の環境を良くする会』は、計画の推進母体として位置づけられ、平成20年3月に発足しました。

編集者だより

5年目を迎えた現在は、個人会員43、家族会員5、団体会員11、事業所会員10で環境像や環境目標の達成を目指して活動しています。

具体的な活動としては、自然環境保全、地球温暖化防止、「ごみ減量・循環型社会などについて、小さな事でも大切に考えひとつひとつ実践しています。

そして、このパートナーシップの輪を広げるよう努力していきます。

皆さんも、市民参加型の『ひたちなか市の環境を良くする会』に入会して、ひたちなか市の環境を良くしていきませんか？(若林)

学生のころから、文章を書くことが苦手で編集者だよりの担当になったものの書き出しが、わからず？それに加え、今回の題は『クリスマス』と言われ苦しい思いが蘇りました。

小6の時、自宅前で転び、手にしていたケーキの箱を一回転。すっかりケーキの形は崩れていました。せめてもの慰めは、家族で大笑いして食べたことです。

これからの時期一段と気忙しくなります。ふと…自然界からの風や香り、音を肌で感じ一息つくのも大切かと思えます。

今年最後の満月は12月28日(金)冬の夜空を眺めてみてはいかがでしょうか！(原口)